

学習内容報告書 フォーマット

学校名	周防大島町立沖浦小学校
授業者	永田 恵里子

1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1. 単元名

ふるさとの海 たからもの発見

1-2. 学年

3-4 年生（複式学級）

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

総合的な学習の時間

1-4. 単元の概要

周防大島は周囲を海に囲まれた島であり、沖浦小学校は海まで歩いて数分で行ける場所に位置している。このような立地条件もあり、沖浦小学校の子ども達は、これまでに「水に賢い子どもを育む年間型活動プログラム」（以下、水プロ）と呼ばれるプログラムを体験している。水プロでは、磯の生き物観察などを実施しており、地元の海に対する理解を深めてきたが、今回、海洋教育パイオニアスクールプログラムに応募し、外部の専門家に依頼することで、より専門的な海に関する学習を実施し、子ども達の海に対する興味・関心を増すとともに、地域への愛着心を育むことを目的とした。

1-5. 単元設定の理由・ねらい

周防大島には潮流発電の実験候補地にもなる「大島瀬戸」があり、その潮流のエネルギーは国内でも有数の場所として知られている。今後、実際に潮流発電が実施されれば、海洋から新しいクリーンエネルギーを生み出すことが可能になり、持続可能な社会の一助になると考えられるが、残念ながらそのようなことは子ども達を含め、地域の人々には広く知られていない。本単元では、地域の誇れる資源（潮流）とその発電を通して、海洋について学び、最終的には地域への愛着心を育むことを目的に単元設定した。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

- ・海を通して、自分たちが暮らす地域の価値を新たに気づき、守り、継承していこうとする態度
- ・主体的に環境問題へ取り組む資質

1-7. 単元の展開（全 25 時間）

時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
1-2 (2)	<p>地域の海について考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまで活動してきた水プロの内容をふりかえった。 ・外部講師の方に自慢したい地元の海の魅力について考えた。 	<p>水プロを実施するうえで作成した教材を再度使用し、子ども達が学んだ内容を再度復習した。</p> <p>また、水プロの時に講師をしていただいた方に再度お越しいただき、不明な点を質問した。</p>
3-5 (3)	<p>「海にもっと親しむ・守る」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外部講師の方にこれまで自分達が活動してきた海に関する内容を発表した。 ・学校の近くの磯場に行き、そこにいる生き物を外部講師に紹介するとともに、海岸において清掃活動を実施した。 	<p>まずは外部講師の方との距離を縮めるため、アイスブレイクを兼ねた座学を、外部講師の方に実施していただいた。</p> <p>現地では、安全管理に配慮しながら、子ども達が事前に学習した内容に基づき、主体的に磯場を案内するように指導した。</p>
6-8 (3)	<p>「海を知る」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外部講師の方、並びに地元の「なぎさ水族館」のスタッフの協力により、水族館内とバックヤードを見学させていただいた。 ・周防大島に世界最大規模のニホンアワサンゴ群落があることを教えていただいた。 	<p>事前にワークシートを準備、水族館で生き物を飼育する上での苦労や、展示について工夫している点などを取材できるよう教材を準備した。</p>
9-14 (6)	<p>「海を利用する」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外部講師の方、並びに地元の「大島商船高等専門学校」の協力により、実習船で大島瀬戸の潮流を見学した。 ・帰校後、大島瀬戸の潮流を再現する実験装置を使用し、潮流の仕組みを学んだ。 	<p>実習船に乗るにあたり、安全管理を徹底した。</p> <p>また、様々な専門家の方々に仕事内容をお聞きするとともに、大島瀬戸の潮流がいかによいエネルギーを有しているかをお話いただいた。</p>
15-24 (10)	<p>しおかぜ祭（さい） 準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまで学習した内容をまとめ、しおかぜ祭において発表するため、準備を行った。 	<p>総合的な学習の時間を通して、自分達の地域で新たに発見したことを互いに共有し、主体的に発表会に取り組めるよう指導した。</p>
25 (1)	<p>しおかぜ祭 発表会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「海に親しむ」「海を知る」「海を利用する」の各テーマに基づき、学習した内容を発表するとともに、今後、自分達が地域の「海を守る」ことについても発表した。 	<p>学内、学外の方が参加される発表会のため、発表後は教員、並びに学外の方からも積極的に評価いただくようにし、子ども達の自己肯定感を高めるとともに、地域への愛着心を育むよう指導した。</p>

2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

2-1. 単元における位置づけ

単元 時間中の 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

2-2. 本時の目標

- ・実際に大島瀬戸の潮流を間近に観察すること
- ・現地で見えた潮流のメカニズムを室内において実験装置を用いて再現し、大島瀬戸の地形や特徴について体験を伴う形で理解する

2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
1、講師&スタッフ 自己紹介	
2、授業内容について説明	2、楽しい授業になるとともに、危険を伴うことを事前に説明し、指導者の指示に必ず従うよう周知した。
3、大島商船高等専門学校へ移動	
4、操船シミュレータ体験	4、5 普段、内部を見る機会の少ない大島商船高等専門学校において、様々な専門家からレクチャーを受け、多様な角度から海との関りを考える。
5、練習船 大島丸の見学	
6、実習船 すばるの説明	
7、すばる乗船、大島瀬戸周辺を航行	7、目視で確認できる潮の流れ、並びに船の動きなどから、実際の潮流のすごさを体感するとともに、潮流発電施設の候補地であることを伝える。
8、帰港、学校へ移動	
9、給食、昼休み	
10、教室にて潮流発電に関する実験、座学	10、7、において体感したものがどのような仕組みで起こる現象なのかを、実験装置を用いて学習し、さらに理解を深め、情報発信の際の一助となるように指導した。
11、ふりかえり、まとめ	

3. 今回の活動の自己評価

これまで実施してきた水プロの授業から、海洋に特化しつつ、地域の学習資源を有効活用した周防大島ならではの単元を実施することができた。具体的には、2 回目の「海を知る」についてご協力いただいたなぎさ水族館の方々、また3 回目の「海を利用する」について協力いただいた大島商船高等専門学校の方々など、指導者としても、改めて海洋教育の教材となる地域資源に恵まれていることを知る機会となった。

また、大阪などから外部講師の方に来ていただき、外部の方から周防大島の海の素晴らしさを発信していただくことで、あって当たり前の海について、その価値を再認識するとともに、子ども達の地域への愛着を育む授業を展開することができた。

4. 今後の課題

今年度は外部講師の方が全体をコーディネートしていただき、授業の展開についてもアドバイスをいただき、非常に有益であった。来年度以降については、学校の運営体制や児童の状況にもよるが、自前での実施を協議しており、今年度得たノウハウを学内において継承していくことが課題であると考えている。

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

本学習内容は、先述した通り周防大島に海洋教育の教材となる地域資源に恵まれていたため、「海洋エネルギー」という通常は実施することが難しいテーマを扱うことができた。よって、活用前にまずは地域に「海洋エネルギー」について学ぶことのできる教材の有無を確認することが重要である。

また、本プログラムを実施するにあたり、指導者側も地域の海洋教育資源について再認識することができた。他の地域にも教材となる資源が眠っていることが考えられるので、専門家に相談するなど、各地域での実践内容を検討することが重要であるとする。

※実施した単元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS 明朝、10.5 ポイント / マージン：上下端 20mm、左右端 16mm

※ファイル名は「学習内容報告書_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書_海洋市立パイオニア小学校 1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。